



兵庫県から送られた日本庭園

パース近郊で季節のワイルドフラワーを視察し、黒鳥が生息するモングァー湖と共にパース市内を見学しました。私が兵庫県と姉妹都市十周年記念式典に来豪しました時は、イギリスかと思わせる写真で見ると心打たれました。更に丘陵地には新しい高級

平成十九年八月三十日から九月五日迄の予定で、私は「ワイルドフラワーフェスティバル二〇〇七」視察に参加しました。

当日は、八月三十日午前九時から関西国際空港の特別待合室「だんじり」にて結団式を行い、空路にて出発しました。

西オーストラリア州 「ワイルドフラワーフェスティバル二〇〇七」 視察に参加して

住宅街があり、新旧のバランスが良くとれた町並みであったことを思い出し、今回も期待して参加しました。

今、パース市内は高層ビルが建ち、地下資源の宝庫として世界中から注目され、バブルが始まったと言われています。

市内中心の高台のキングスパークで、オーストラリア最大の野生の花の祭典「ワイルドフラワーフェスティバル二〇〇七」が行われ、パーク入口には兵庫県から姉妹州を記念して、日本庭園が寄贈されました。開会にあたり式典が行われ、西オーストラリア州より多くの方が参加され、更に兵庫県からも参加し、日本庭園開所式が行われました。

日本庭園は、兵庫県淡路園芸景



公園内からパース市内を望む

観学校石原校長の設計のもと、現地造園家により、庭園材料は全て現地のもので使用して作庭され、築山と滝流れと共に池を作庭し、四阿を配置し公園の自然な借景を取り入れ、作風は心がなごみ日本に在るような気分になりました。キングスパークでは、ボランティアの女性に案内して頂き、園内の多くの自然の草花の説明を聞きながら、特に自然の営みの中に幾重にも咲き誇る草花と壮大な木々、それにもまして自然火災に

社報 地球と友達

株式会社 函村風晃園

670-0934
668-0051
650-0012
620-0000
668-0044

65
846-1
5 5-18
(1118-2
11

(079)224-5611 ☎ 24-8187
(0796)23-5611 ☎ 22-4529
(078)361-2606 ☎ 361-2607
(0773)33-2111 ☎ 33-4075
(0796) 3-5616 ☎

http://www.fuukouen.com

seifuu_skyblue.ocn.ne.jp

ANNEX



幻想的な癒しの空間に

（株）西村風晃園ではお客様の御要望に沿ったお庭を作らせて頂いています。

日常の空間に自然をおいておきたいという欲求は、数千年前から変わることなくあります。ほっとする空間を日常に取り入れたい。緑や石を入れることで、自然物の力で癒やされたいと、現代はなおさら思うのかもしれませんが、そこで今号では、今年の秋に完成した2件を紹介させて頂きま



宮津の風景を感じる空間

宮津市の某邸では家の取り壊しに伴い、庭園が無くなるので寝室から眺める空間に癒しを求め

ておられました。そこで、元々の庭園にあった素材を使いながら、宮津市ならではの風景を、庭園に取り入れようと考えました。宮津市と言えば日本三景の天橋立です。それを連想させるものを作りたいたい、そう考えて枯山水に取り入れたのがこの庭園です。施主様も天橋立には思い入れがあり、その案にも大変喜んで頂けました。

海の石を用いることで、日本海の波を演出し、白砂利で海の流れを表現しています。又、取り壊した家から発生した瓦を使い、さざ波を演出しました。背景には宮津市の山々がそびえており、この庭を一体として、いっそう土地の風を感じられると、好評を頂きました。

豊岡市某庭園では悠久の時を感じさせるような、幻想的な空間を作りたいと考えて、描いてみました。和室より眺める空間には、



ファイナダーで切りとったような庭(豊岡市)

白砂利で池を作り、底に写り込んだ月夜を表現しています。切石で雲を、瓦で流れを、庭園灯により映し出された立石が、月光を表現して、時の流れを感じて頂けるように演出しています。

また、外壁の覗き窓からは、フレーム処理によって、まるで空間を切り取った写真であるかのように見せたいと考えて、配置をしました。

このように、庭には自由な発想で、生活空間に癒しと楽しさを表現できる強い力があると思います。これからも、お客様の思いを表現し、現代の住宅事情にあった表現方法で庭造りをご提供していきたいと思えます。





明石駅前の出展ガーデン

九月二十九日から十月七日の九日間にわたって明石公園と明石駅周辺で「ひょうごまちなみガーデンin明石」が開催され、当社も模範的なガーデンとしてデモンストレーションガーデンを出展させて頂きました。

当社のブースでは、まちなみを彩る新しい「和」の空間をテーマに、サツキやコクチナシを刈込んで明石大橋を形づくり、リンドウやアスター、ヤブランを波に見立

2007
ひょうごまちなみ
ガーデンin明石
に出展



造園業をPRする社員

第七回
ひょうご
フローラフェスタ
に協力

て、明石らしさを演出しました。明石駅前交差点の人通りの多い場所での設置ということもあり、施工中から「綺麗やね」「ええのを作ってもらえるんやね」と多くの方にとっても喜んで頂きました。

当社としましては、今後もこのようなイベントに積極的に参加させて頂き、まちなみを彩る取組を続けていきたいと思えます。

「美しい森に息吹く花・緑のフェスタ」をテーマに第七回ひょうごフローラフェスタが、開園したばかりの県立丹波並木道中央公園で、十月二十日・二十一日の両日行われ、県内各地から三千五百人以上の老若男女が公園を訪れ、緑に親しみました。

兵庫県下各流域で
郷土植物の
秋の種子採取スタート

当日は前日までの雨も上がり晴天の中でのイベントになり、当社では二名の社員が両日にわたり、兵庫県内の造園業界の一員として、テントブースでの造園業のPRパンフの配布と花苗のプレゼントを行い、造園業への一般の方々の理解に努めました。

本年から全社で取り組んでいるチガヤやヨシ等郷土植物の種子採取を六月のチガヤ採取に続き十月末から種子採取を行いました。今回はヨシやツルヨシの種を採取するもので、採取された種は

達がいっしょにより手頃な値段で陳列され、地元但馬・丹波・丹後、遠くは姫路から来場されたお客様をお迎えしました。

今回は、当社の新しいユニホームもこの植木市から披露され、当社の新たなイメージをPRし、ご来場のお客様に好評を頂きました。次回の春の植木市にはPR不足の反省から、より詳しく、より丁寧にお客様に理解して頂けるPR手法を確立することが、今後の課題になりました。



今号の顔
渡辺要一

昭和二十四年二月
兵庫県丹波市生まれ



円山川での採取状況

イブシギンで造園工事・法面処理工事の受注に京都府下と兵庫県丹波地域を飛び回る笑顔が光る営業の要。

どこかの街角でこの顔を見かけられましたらお声をお掛け下さい。

新ユニホームで
二十四期スタート

新しい期となる十月から、当社のユニホームがリニューアル致しました。

今までのユニホームは、平成六年から本年九月まで九十三年間使用し、製造中止となり、今回のリニューアルとなりました。

新ユニホームは、上着をオレン

より焼け跡から新しく咲いた花の素晴らしさを体験し、人工的な草花とのコンビネーションを交えて、キングスパークの独特な景観と自然の植物に感動しました。

更にパース動物園内では、以前に兵庫県より寄贈されました日本庭園改修工事の竣工式が行われ、西オーストラリア州との交流会が催され、アボリジニの音楽演奏に人間の命の響きを感じました。

(副社長筆)



新ユニホーム

ジとし、活動的なイメージの色で生命や情熱を象徴し、明るさと健康を表しています。

また、ズボンはグレーで日本人に親しまれる色であり、心理的に抵抗感が無く安心で、上品、優しい感じのする、プラスイメージの高い色を採用しました。

今後は、以前のユニホーム着用時同様、株式会社西村風晃園の社員が来たとお客様に判別して頂き、声を掛けて頂けるよう、リニューアルに合わせて一層社員の教育訓練に努めて参ります。

街角で当社の新ユニホームを見かけましたら、お気軽にお声をお掛け下さい。

笑顔が得意の社員が対応させて頂きます。



植木市会場を訪れた親子連れ

秋の
新鮮植木市開催

今年も、十月十三日(土)〜二十一日(日)の約一週間、豊岡本社構内で秋の新鮮植木市を開催しました。

期間中は空高く、すがすがしい風が吹く秋晴れに幾日も恵まれました。日本全国より、当社の担当者によって目利きされた植木

お越し頂きました皆様どうもありがとうございました。

春の植木市には社員一同新たな企画でお客様に喜んで頂くよう努力致します。